

立身出世を志した諭吉の留学費用になった本、発見！

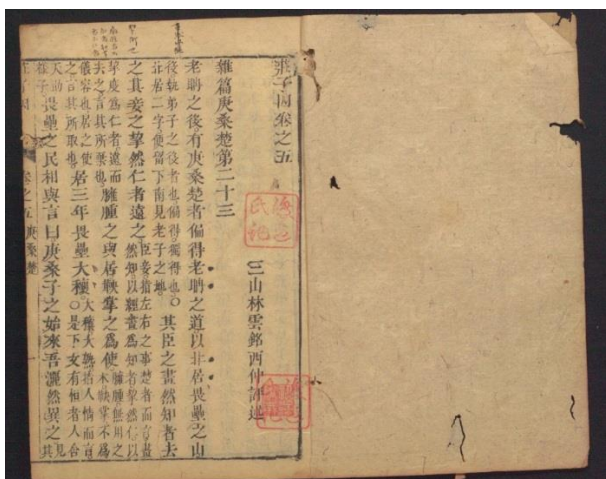
1. 新発見資料・福澤家旧蔵書について

新中津市学校の事業で進めている資料整理の中で、福澤諭吉に関する新資料が発見されました。発見されたのは福澤の父・百助が購入し福澤家が所蔵していた書籍で、中津藩国学者渡辺重名の子孫である渡辺家の資料の中にありました。渡辺家資料は昨年度より新中津市学校が慶應義塾と共同で調査研究を進めているものです。

これまで福澤家旧蔵書は、福澤が大坂に行く際に売却したという臼杵図書館・慶應義塾が所蔵するものしか確認されていませんでした。

今回発見された福澤家旧蔵書は、「福澤家蔵」印が押されており、福澤諭吉が長崎に留学する際、留学費用捻出のため渡辺家に売却したと記録されていることから、立身出世を志した福澤の青年時代を物語る貴重な資料といえます。

新発見資料については、下記のとおり、企画展「福澤諭吉の書」にて展示公開します！



「福澤家蔵」印が押された書籍



「福澤家蔵」印

2. 企画展「福澤諭吉の書」の開催について

中津市歴史博物館・新中津市学校・公益財団法人 福澤旧邸保存会合同で、企画展「福澤諭吉の書」を開催します。この企画展では、福澤諭吉の手紙、原稿、漢詩など、彼が書いた様々な書にスポットライトをあてます。福澤諭吉が書く文字を通して、彼の新たな一面を探ります。この企画展で新しく発見された福澤家旧蔵書や、渋沢栄一宛福澤書簡を初公開します。

会期：令和2年11月14日～令和3年1月9日

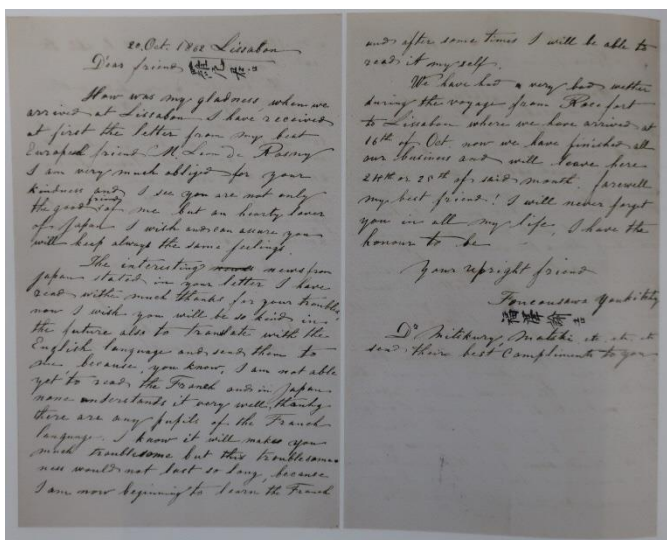
主催：中津市歴史博物館・新中津市学校・公益財団法人 福澤旧邸保存会

会場：中津市歴史博物館・福澤記念館

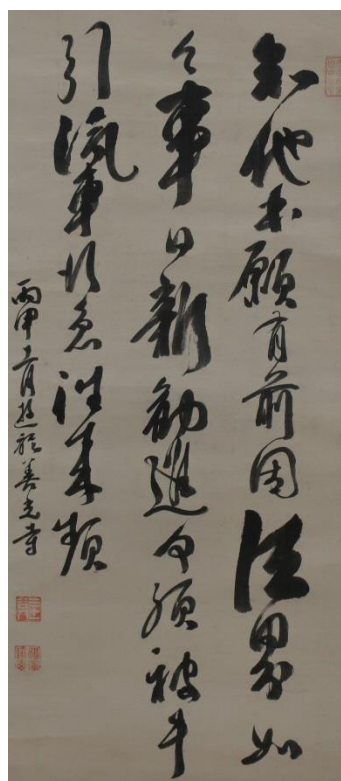
3. 展示内容～渋沢栄一にあてた福澤諭吉書簡も初公開～

本展示会は、中津市歴史博物館・福澤記念館の2会場にわたって展示を行います。中津市歴史博物館では上記の新発見資料・福澤家旧蔵書を公開するほか、新中津市学校が保管する福澤諭吉漢詩や慶應義塾所蔵の福澤諭吉英文書簡、自筆原稿など希少な資料を多数展示します。

福澤記念館では令和6年度より一万円札の顔が福澤諭吉から渋沢栄一になることをうけ、慶應義塾所蔵の渋沢栄一宛福澤諭吉書簡を展示します。この書簡はこれまで個人が所蔵していましたが、昨年慶應義塾福澤研究センターに寄贈されたもので、本展示会が初公開となります。



レオンドロニー宛福澤諭吉書簡(慶應義塾福澤研究センター蔵)



善光寺雄詩七言絶句(新中津市学校保管資料)



渋沢栄一宛福澤諭吉書簡(慶應義塾福澤研究センター蔵)

【問合せ先】

中津市教育委員会 歴史博物館
TEL : 0979-23-8615